

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	臨床実習 1	実習	2	90	基礎柔道整復学1～4 臨床柔道整復学1～4 柔道整復実技1～5
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 2年生	中川恵美・錦織輝礼・小澤健史 太田直樹・南沢 悟・中川裕貴	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	附属臨床施設(附属接骨院)外来担当での実務から、各種臨床現場(施術所、スポーツ救護、高齢者施設)で想定される様々な対応について実習を通して学びます。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>卒業後の柔道整復師業務現場(施術所、救護、医療施設等)において必要な能力を基本的事項から身に付ける。 施術所における例) 身なり・言葉づかい・施設の使用法・受付業務、患者対応を指示されなくても実行できるようにする。その後、評価・治療など具体的な柔道整復術の活用方法を考案できるようにする。 また以下の2項目について、外部実習施設における臨地実習を行う。 ① スポーツ(柔道)救護活動の現場における補助・見学実習(骨折・脱臼などの新鮮外傷を観察・評価体験)を行う。 ② 学外実習施設(臨床実習指導者のいる接骨院・医療施設等)にて臨地実習を行う。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>実務教員の接骨院・整形外科等での臨床経験を活かし、患者対応から柔道整復術の適応と施術までを幅広く学べるように授業を展開します。実習を通して臨床(附属臨床施設・外部実習施設)において発生する外傷の評価・施術について学ぶとともに、スポーツ現場における救護および医療施設等における機能訓練指導についても補助や見学実習を通じて多様な臨床場面での対応力を身につけましょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>公益社団法人全国柔道整復学校協会監修「柔道整復学・理論編(改訂第7版)」 公益社団法人全国柔道整復学校協会監修「柔道整復学・実技編(改訂第2版)」 他</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡し下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●身なりの確認は厳重に行う。(白衣の清掃、名札、髪の毛など) ●授業資料が配られた場合、ファイリングする。 ●レポート課題が提出されることがあるが、期日を守る。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	レポート課題(臨床実習において、授業後にレポート作成させ評価する。) スポーツの救護活動・学外臨床実習の参加態度とレポートも加味する。			
その他	20	出席率・授業態度・身なりを20点分として換算する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		【臨床実習ガイダンス】 学外臨床実習・スポーツの救護活動に ついての実施方法を知る。①		/	中川恵
2		昨年度・臨床実習活動報告 外部臨床実習・柔道の救護活動 についての活動概要を知る。		/	中川恵
3		救護活動に必要な問診技術① 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
4		救護活動に必要な問診技術② 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
5		救護活動に必要な問診技術③ 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
6		救護活動に必要な簡易固定法① 軟性の固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
7		救護活動に必要な簡易固定法② 硬性の固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
8		救護活動に必要な簡易固定法③ 応用的な固定具を使った固定を体験する。 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
9		救護活動に必要な徒手検査法① 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵
10		救護活動に必要な徒手検査法② 学外臨床実習時に必要な 学習・技術の再確認		/	中川恵

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
16		スポーツ活動現場の見学・実習① (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
17		スポーツ活動現場の見学・実習② (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
18		スポーツ活動現場の見学・実習③ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
19		スポーツ活動現場の見学・実習④ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
20		スポーツ活動現場の見学・実習⑤ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
21		スポーツ活動現場の見学・実習⑥ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
22		スポーツ活動現場の見学・実習⑦ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
23		スポーツ活動現場の見学・実習⑧ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
24		スポーツ活動現場の見学・実習⑨ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員
25		スポーツ活動現場の見学・実習⑩ (柔道の救護活動) ※実習先・実習内容は別紙参照		/	専任教員

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
26		学外臨床実習① ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
27		学外臨床実習② ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
28		学外臨床実習③ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
29		学外臨床実習④ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
30		学外臨床実習⑤ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
31		学外臨床実習⑥ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
32		学外臨床実習⑦ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
33		学外臨床実習⑧ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
34		学外臨床実習⑨ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
35		学外臨床実習⑩ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
36		学外臨床実習⑪ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
37		学外臨床実習⑫ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
38		学外臨床実習⑬ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
39		学外臨床実習⑭ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
40		学外臨床実習⑮ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
41		学外臨床実習⑯ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
42		学外臨床実習⑰ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
43		学外臨床実習⑱ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
44		学外臨床実習⑲ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員
45		学外臨床実習⑳ ※実習先・実習内容は別紙参照		/	柔道整復 臨床実習指導者 ・ 専任教員